

令和6年度 第4回 在宅医療×介護連携@つちう Labo 参加者アンケート

- 日 時：令和6年12月12日（木）14時00分～15時00分
- 場 所：土浦市2階 男女共同参画センター 研修室1・2
- テーマ：土浦市の現状、社会資源等について
- 出席者：31名（アンケート回答率：86.1%）

1. あなたの年齢、職種を教えてください。

【年 齢】

	人数	割合
20代	1	3.2
30代	2	6.5
40代	6	19.4
50代	14	45.2
60代	7	22.6
70代以上	0	0.0
無回答	1	3.2
合計	31	100.0

【職 種】

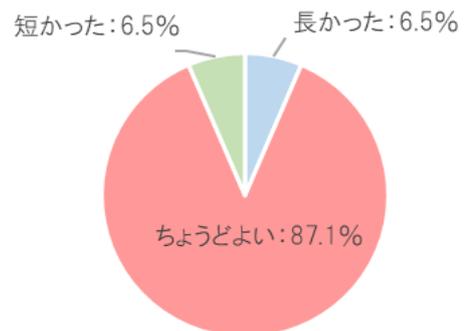
	人数	割合
介護支援専門員	22	71.0
薬剤師	7	22.6
看護師	1	3.2
理学療法士	1	3.2
合計	31	100.0

2. 本日の研修会について

(1) 講演についてお伺いいたします

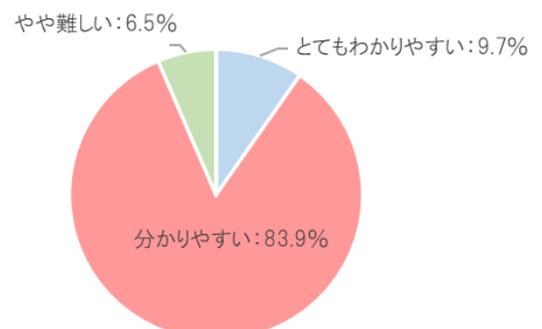
①講演の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	2	6.5
ちょうどよい	27	87.1
短かった	2	6.5
合計	31	100.0



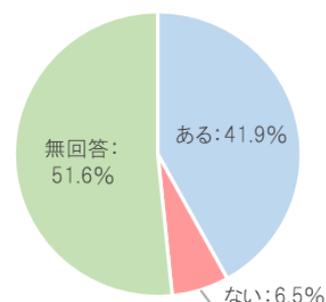
②講演の内容は、いかがでしたか？

	人数	割合
とてもわかりやすい	3	9.7
わかりやすい	26	83.9
やや難しい	2	6.5
難しい	0	0.0
合計	31	100.0



③本日の講演内容で、今後取り組もうと思った内容はありますか？

	人数	割合
ある	13	41.9
ない	2	6.5
無回答	16	51.6
合計	31	100.0



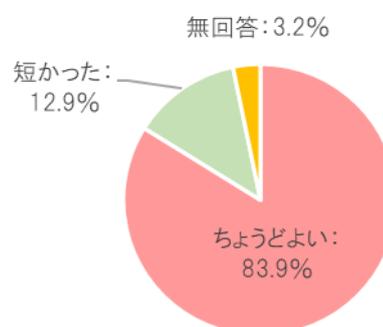
【「ある」と回答した方：具体的な内容】

- ・薬剤師さんとの連携（退院前カンファレンス、担当者会議の参加）
- ・薬剤師との連携強化。
- ・薬剤師さんとの連携を深めたい。
- ・薬剤師との連携を深める。
- ・薬剤師さんとの関わり。
- ・薬剤師としてケアマネさんに利用者の情報を聞く。
- ・サービス担当者会議に薬剤師の参加を促したい。
- ・退院時のカンファレンスへの参加。
- ・薬剤師さんとの連携。
- ・薬局との連携。
- ・薬剤師さんとの連携。
- ・積極的にケアマネさんと連絡を取って、情報共有したいと思った。
- ・薬剤師との連携。
- ・薬剤師さんとの連携。

(2) 意見交換会について、お伺いいたします。

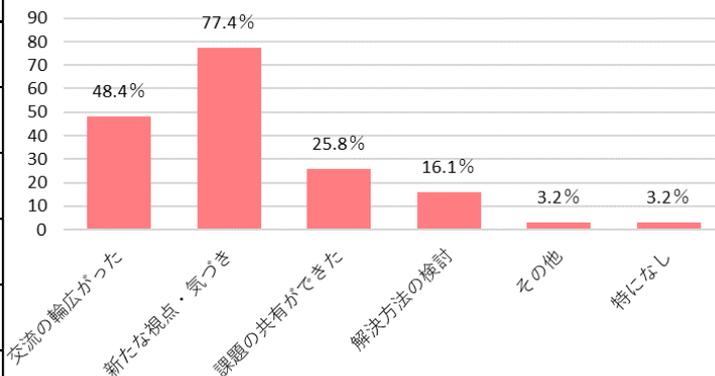
①意見交換会の時間は、いかがでしたか？

	人数	割合
長かった	0	0.0
ちょうどよい	26	83.9
短かった	4	12.9
無回答	1	3.2
合計	31	100.0



②本日の意見交換会では、どのような成果が得られましたか？

	人数	割合
交流の輪広がった	15	48.4
新たな視点・気づき	24	77.4
課題の共有ができた	8	25.8
解決方法の検討	5	16.1
その他	1	3.2
特になし	1	3.2



【その他】

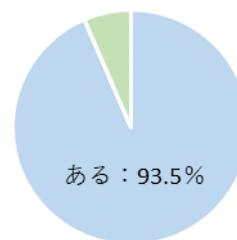
- ・服薬ロボットというものがある。居宅療養で対応可能。

3. 普段の支援についてお伺いします。

①日常の業務の中で、在宅療養に関わることがありますか。

	人数	割合
ある	29	93.5
ない	0	0.0
無回答	2	6.5
合計	31	100.0

無回答：6.5%



②円滑な在宅療養支援のため、日頃実践していることや、課題に感じていることを教えてください。

【実践していること】

- ・本人、家族の気持ちを聞く。
- ・ケアマネ、看護師などの連携。
- ・本人、家族との意思確認を状況に応じて行っている。
- ・情報共有。
- ・新事業所の把握。
- ・利用者の方、家族の方のお話をじっくり聞くこと。
- ・事業所と訪問し、連携ととる。
- ・連携。
- ・先生が訪問中にケアマネジャーも訪問する（たまに）。
- ・医師との連携。
- ・新しい資源の把握。
- ・患者さんに在宅療養を進めている。
- ・チーム作り。

- ・情報共有。

【課題に感じること】

- ・訪問介護の事業所が減っている。調整がかなり厳しい。
- ・つい医療職の方に頼ってしまう。
- ・もう少し連携を密にしたい。
- ・多職種連携。
- ・専門職と価値観が違うことで、利用者、家族の望む暮らしの実現が難しい。
- ・ケアマネジャーとの接点が少ない。
- ・訪問介護事業所が十分でない。
- ・本人様と介護している家族の方の意見が違うことが多い。どう調整するか。
- ・ケアマネとの連携が取りにくい。
- ・一人暮らしの人。一人暮らしの人が死んでいることが多い。
- ・薬剤師の連携。
- ・夜間の臨時対応。
- ・情報共有。
- ・総合病院の医師との連携。
- ・情報共有。

③多職種に対して感じることはありますか。

- ・多職種連携を図ることで、在宅介護を維持していくアイデアがもらえる。
- ・医師によって連携しやすいかどうか。
- ・なかなか連携（直接）はなせない。
- ・皆さん、多忙なので連絡がつきづらい自分も含めて）。
- ・連携…単に顔を知っているだけでは難しい。それぞれの専門職の理解を深めることは難しいと思う。
- ・個人在宅において情報をあまり得られない。
- ・薬剤師さんも出席していただけるとよいと思った。
- ・とても重要なこと。特に看取りにあたっては医療と介護の連携は重要。
- ・考え方の違いによって目的が変わってしまうので、難しいと考えることがある。
- ・必要と感じる。
- ・皆に声をかけていこうと思いました。
- ・関わりが少ない。情報が少ない。
- ・都合をつけるのが大変。
- ・多職種で意見交換。
- ・お互いの専門分野をカバーしあうことができ、頼れる。
- ・受け身になってしまっている。

④ どのようなツールがあれば、連携しやすいですか。

- ・薬局ではタブレットで連携をとっています。
- ・メール（今も活用している）。
- ・メールなど。
- ・連絡ノートやライン等で共有する。
- ・グループライン。退院時の面談への参加。
- ・土浦市で統一したフォーマットや ICT。
- ・統一されたもの。

4. 今後、どのようなテーマの研究会や意見交換会を行ってみたいですか。

- ・医師とケアマネとの情報共有について。
- ・多職種連携。
- ・一人暮らしの方の支援～多職種連携（市が民生委員さんとの連携など）。
- ・参集で研修会を望みます。
- ・ST さんがいる訪問看護ステーション。

(5) 研修会などに参加できる時間に○をつけてください。

	人数	割合
午前中	4	12.9
14時～17時	21	67.7
18時～21時	1	3.2
いつでも	1	3.2
無回答	2	6.5

